

## 第 11 回 貝塚市立義務教育学校開校準備委員会 議事要旨

- 日 時 令和 6 年 2 月 19 日 (月) 19 時～20 時
- 場 所 二色小学校 ランチルーム
- 出席者 宮瀧委員 (会長)、成川委員 (副会長)、八野委員、三野委員、出合委員、  
下村委員、佐藤委員、浅井委員、貴志委員、檜崎委員、秦委員、  
その他事務局職員

### ■ 会議概要

#### 1. 議 事

##### (1) 学校要覧について

○宮瀧校長が、学校要覧について説明しました。

学校要覧とは、教育目標や教育活動の特色、年間行事予定や教室配置等、二色学園の概要を掲載した資料で、閉校式のときに出席者にお配りするとともに、開校式後は、保護者や視察等で二色学園を訪れた方々に配付します。

二色学園の学校要覧には、二色学園のグランドデザインを掲載しており、その内容についてご説明します。

二色学園では、9年間を基礎充実期(1～4年)・活用期(5～7年)・伸長期(8～9年)の3つに分類し、成長過程に合わせた教育を行います。具体的には、「人権」「生活・健康」「学力・キャリア」の3つを柱にした教育活動を行い、教育内容は、これまで二色小学校・第五中学校で大切にしてきたものを継承しつつ、貝塚市教育研究センターとも連携しながら最新の教育を積極的に取り入れていきます。

特色ある小中一貫教育として、①「9年間を見据えたカリキュラム」により、きれめのない、一人ひとりに応じたいいいな指導・支援を実現する、②「専科指導やティームティーチング、交換授業」により、前期課程と後期課程の教員が、互いの専門性を活かした授業の研究・実践を行う、③児童会・生徒会の活動や文化発表会等での交流など、前期課程と後期課程が「合同での活動や行事、交流」を実施する、の3点を掲げています。

また、台中市(たいちゅうし)立人(リージョン)国民学校との交流を通じて、英語教育や国際理解教育の充実を図ってまいります。

さらに、コミュニティ・スクールとして、学校の願いと地域の願いを共有し、学校と地域が連携・協働しながら児童生徒を育む「地域とともにある学校づくり」を推進してまいります。

##### (2) 閉校式・開校式について

二色小学校・第五中学校閉校式と二色学園開校式について、事務局が説明しました。

##### ○開校式

- ・日時：令和 6 年 3 月 22 日 (金) 午前 10 時 30 分～午前 11 時 40 分 (予定)
- ・受付：午前 10 時から

※二色小学校、第五中学校の修了式終了後に行います。

- ・会場：第五中学校 体育館
- ・参加者：在校生、卒業生（小6、中3を含む）、保護者（制限は設けません）、地域住民（制限は設けません）、行政関係、来賓
- ・次第：開式のことば、教育長告示、市長あいさつ、来賓代表あいさつ、来賓紹介、思い出スライドショー、卒業生代表から、校歌演奏、学校旗返納、謝辞、閉式のことば

※満席の場合、別室にて中継でご覧いただきます。

※当日は、第五中学校の施設を開放します（午前10時～午後3時の予定）。

#### ○開校式

- ・日時：令和6年4月12日（金）午前9時～9時50分（予定）
- ・会場：二色学園 体育館（現 二色小学校 体育館）
- ・参加者：在校生（1年生から9年生）※1年生は式典の途中から参加、行政関係、来賓（保護者や地域の方々のご参加いただけません）
- ・次第：開式のことば、教育長告示、市長あいさつ、来賓代表あいさつ、来賓紹介、1年生入場、学校旗授与、学校長あいさつ、児童生徒代表あいさつ、校歌披露、閉式のことば

#### (3) 答申について

教育委員会に提出する答申について、事務局が説明し、委員会で承認されました。

##### 【説明】

令和4年7月に設立した貝塚市立義務教育学校開校準備委員会では、教育委員会から諮問を受けた校名、校章、校歌及びその他義務教育学校の開校準備に関する事項について、慎重に審議を行い、「中間答申」「第2回中間答申」として教育委員会に提出しました。今回は、2回の中間答申を踏まえて、今後の二色学園のあるべき姿について最終答申として取りまとめました。

##### 【最終答申内容（一部抜粋）】

審議にあたり最も心掛けたことは「地域の方々の意見を聞く」ことで、すべての事項について児童生徒をはじめ保護者や地域の方々にアイデア募集やアンケートを通じてご意見をお聞きし、その結果を答申に反映しました。

開校を間近に控え、開校準備委員会としての活動は本答申をもって目的を達しますが、二色学園が今後も地域の方々から愛され、保護者はもとより地域の方々との協働による教育活動を実施し、多くの方々の協力を得ながら、次世代を担う児童生徒を育成する学校となることを切に願い、結びとします。

#### (4) その他

○準備委員会の最終回を迎え、各委員が一言ずつ、感想を述べました。（概要）

- ・最初は義務教育学校になることに反対だったが、もともと一小一中ならば、より良い学校になるように考えることは良いことだと思う。他校がうらやましがらるような学校にしたい。

- ・子どもたちも新しい学校に期待している。良い学校にしてほしい。
  - ・子どもたちは前向きに捉えている。サポートする大人たちも子どもたちと一緒にチャレンジしていくことで、学校が良くなると思う。
  - ・学校への理解が深まった。大人同士のつながりもでき、今後もこのつながりを大切にしていくことが、二色学園の教育活動の充実、子どもたちの豊かな成長につながっていくと思う。
  - ・二色学園になって、登校しづらい子が急に「行きたい」とはならないと思うが、「自分たちで学校を良くしていける」と感じ、気持ちよく学校生活を送れるようになってほしいと思う。
  - ・1クラスしかない中で、9年間関係が変わらないことがしんどい子もいる。そのような子たちにも寄り添える学校であってほしい。
  - ・準備委員会のみなさんで、子どもたちの未来のことを考えることができて良かった。
- これらの意見を受けて、宮瀧会長が挨拶をしました。(概要)
- ゼロから作り上げるのは大変な作業でしたが、会議の度に活発に意見交流をしていただきありがとうございました。期待や要望等、二色学園に対するみなさんの熱い思いに背中を押していただきました。
- みなさんが二色学園の生みの親です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。